



JASDAQ

平成 24 年 7 月 2 日

各 位

大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号 東洋紡ビル

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

代表取締役社長 瀧澤 隆

(JASDAQ・コード番号: 3784)

問い合わせ先 執行役員管理部長 西條 直樹

TEL 06-6348-8951

マレーシア現地法人の事業開始についてのお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月 30 日付で「マレーシアにおける子会社設立に関するお知らせ」を公表し、マレーシアにおける現地法人の設立及び事業開始の準備を進めてまいりました。この度、前記お知らせにおいて未確定でありました事項の一部が確定したほか、現地政府より事業認可を取得し、現地法人において事業を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現地法人の概要

- (1) 商号 : Vinculum Malaysia Sdn. Bhd.
(日本語名称) ヴィンキュラム マレーシア株式会社 (略称) VMC
- (2) 代表者 : 森山 一郎
- (3) 本店所在地 : B501, Block B, Phileo Damansara 1, 9, Jalan 16/11, Off Jalan Damansara 46350
Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
- (4) 事業開始日 : 平成 24 年 7 月 1 日
- (5) 主な事業内容 : ソフトウェア開発、システムの導入・展開・教育・運用・保守、
ネットワークサービス、機器販売
- (6) 決算期 : 3 月 31 日
- (7) 従業員数 : 4 名 (初年度)
- (8) 資本金 : 120 万マレーシアリングgit (約 3,000 万円)
- (9) 出資比率 : ヴィンキュラム ジャパン株式会社 100%

2. 今後の展開について

設立初年度は、現地の流通・小売業向けの積極的な提案活動を実施し、現地ビジネスの確立に注力いたします。その後、現地ビジネスの維持・拡大を図りながら、ヴィンキュラム マレーシアを当社グループのアセアン拠点と位置づけ、アセアン事業を推進することを計画しております。

なお、より効率的なグローバル展開を図るため、ヴィンキュラム マレーシアにおいてマルチメディア・スーパー・コリドー (MSC) [注] のステータスを取得することを検討してまいります。

[注] マレーシア政府の経済成長政策の一つであり、マレーシア国内の一定の区域を IT 産業集積地として指定し、物理的なインフラと通信ネットワークを整備し、外国から IT 企業を誘致することにより、次世代型情報社会の実現を目指す構想であります。この構想に合致する外国企業は、MSC ステータスの認可を取得することにより、次のような優遇措置を受けることができます。①外資 100%の保有、②外国人知識労働者の特別就労枠、③法人税免税或いは投資金額全額控除 (いずれも 5 年間)、④マルチメディア関連機器の輸入関税免除等。

3. 業績見通しへの影響

本年度における当社の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後の業績見通しに開示すべき重要な影響があることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

以 上